

2025年3月期 中間決算説明資料

フクシマガリレイ株式会社

Dramatic Future 2050

～誰もがワクワクする未来を拓く、ガリレイグループ～

を超えた挑戦。

A young child with short brown hair, wearing a colorful striped shirt, sits in a metal shopping cart. The child is looking towards the left, where various fresh vegetables are displayed on shelves. The produce includes green bell peppers, artichokes, and other items. The background shows a well-lit grocery store aisle with more shelves of goods.

いつでもどこでも 食の安全・安心を

私たちは「食」に関わるビジネスに携わるものとして、安全・安心な食の提供を何よりも優先し、すべての人の豊かな食生活の実現に貢献していく。これまで培ってきた「安全・安心技術」を、日本はもとより世界へ広くお届けしていく。「食」を通じて社会を明るく元気にすることが私たちの使命である。（食の安全・安心）

フクシマガリレイ株式会社

FUKUSHIMA GALILEI CO.LTD.

設立:1951（昭和26）年12月8日

本社:大阪府大阪市西淀川区竹島2-6-18

代表者：代表取締役 社長執行役員 福島 豪

資本金:27億6千万円

従業員:2,524名（2024年3月末現在）準社員込

連結売上高：1158億15百万円(2024年3月期)

連結経常利益：161億59百万円(2024年3月期)

上場：東証プライム市場

ガリレイグループのネットワーク

国内 **76** 拠点

海外 **11**か国 **14**拠点



岡山第一工場



岡山第二工場



滋賀(水口)工場



グループ会社
ガリレイパネルクリエイティブ彦根工場



タイ工場



事業の概要



冷凍冷蔵
ショーケース



フードサービス



医療・理化学製品

環境・安全・安心をテーマに「幸せ創造企業」を目指します



大型食品加工機械



大型パネル
冷蔵設備

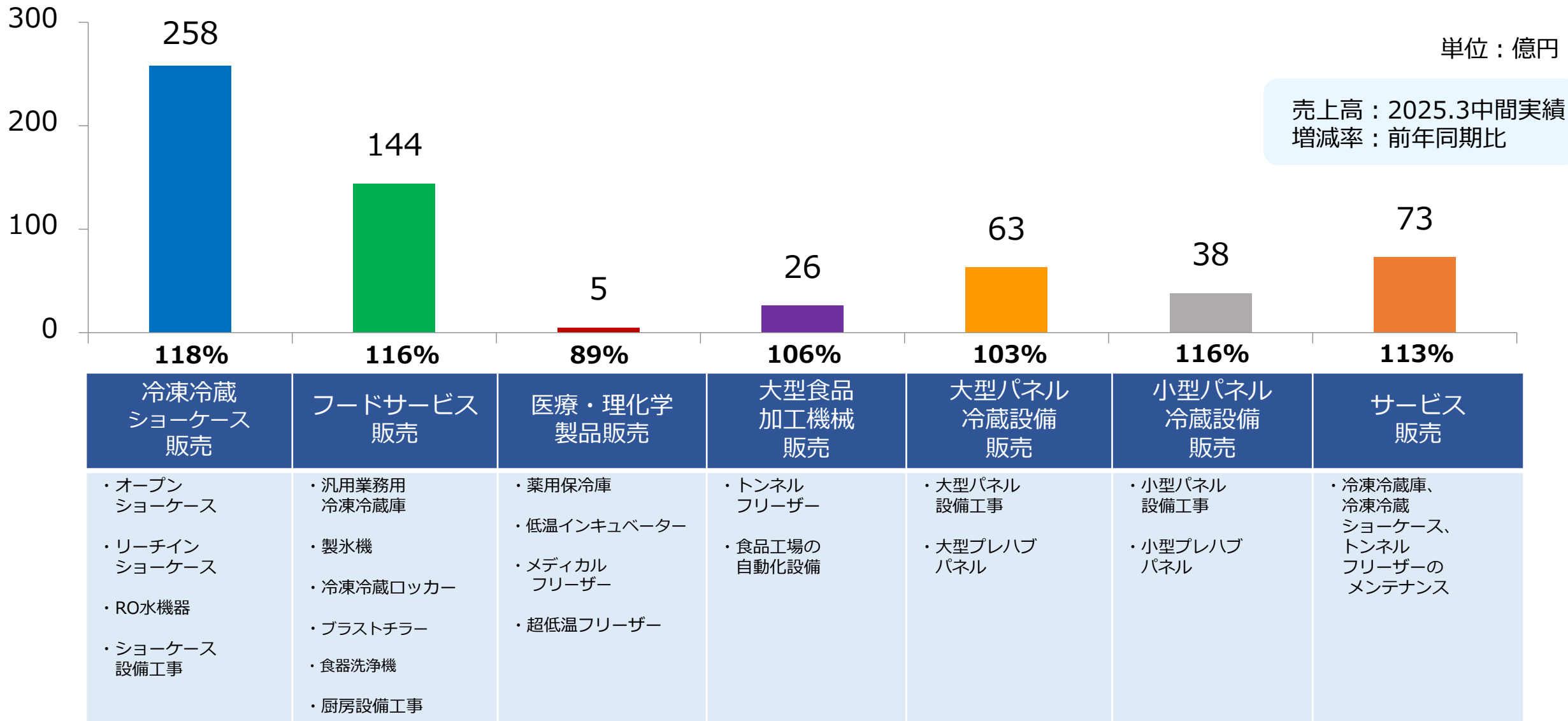


小型パネル
冷蔵設備



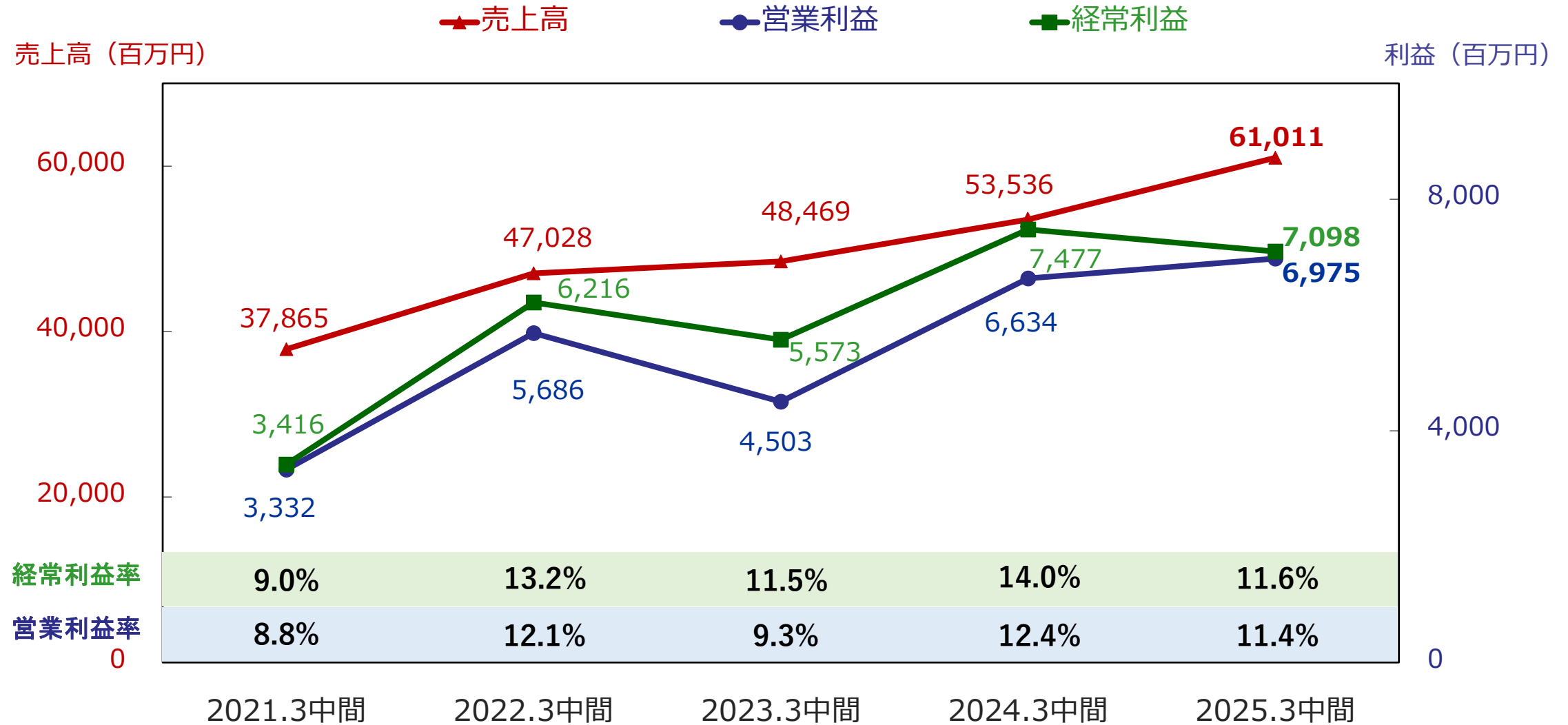
サービス

事業の概要



事業の概要

業績推移（連結）



2025年3月期中間決算のポイント

- 冷凍冷蔵ショーケース販売
 - 省エネ改装需要が引き続き堅調
 - コンビニエンスストア向けに自然冷媒採用ショーケース販売が堅調

- フードサービス販売
 - ブラストチラーの需要は継続
 - グループ入りした日本洗浄機の外食産業向け販売が好調

- 仕入価格の高騰、人件費増などにより営業利益を圧迫

- 為替評価の影響により経常利益は減益

2025年3月期中間業績概要

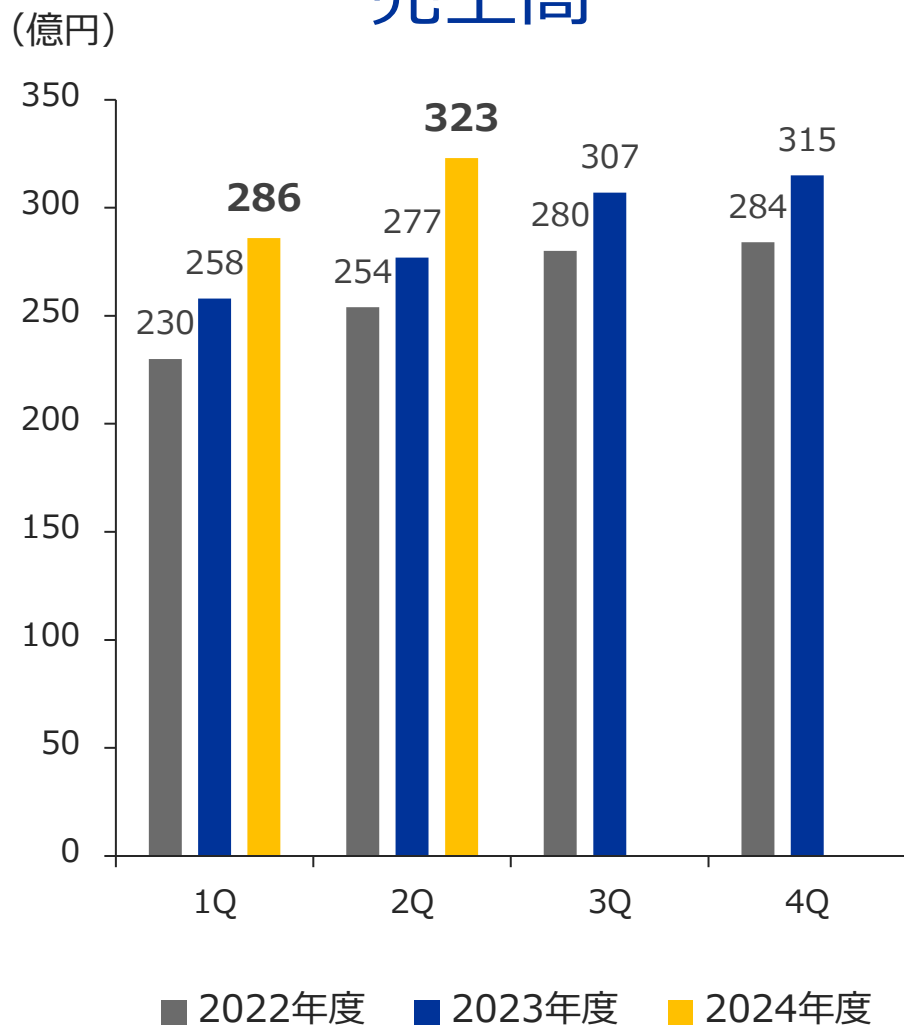
連結損益計算書サマリー

単位：百万円

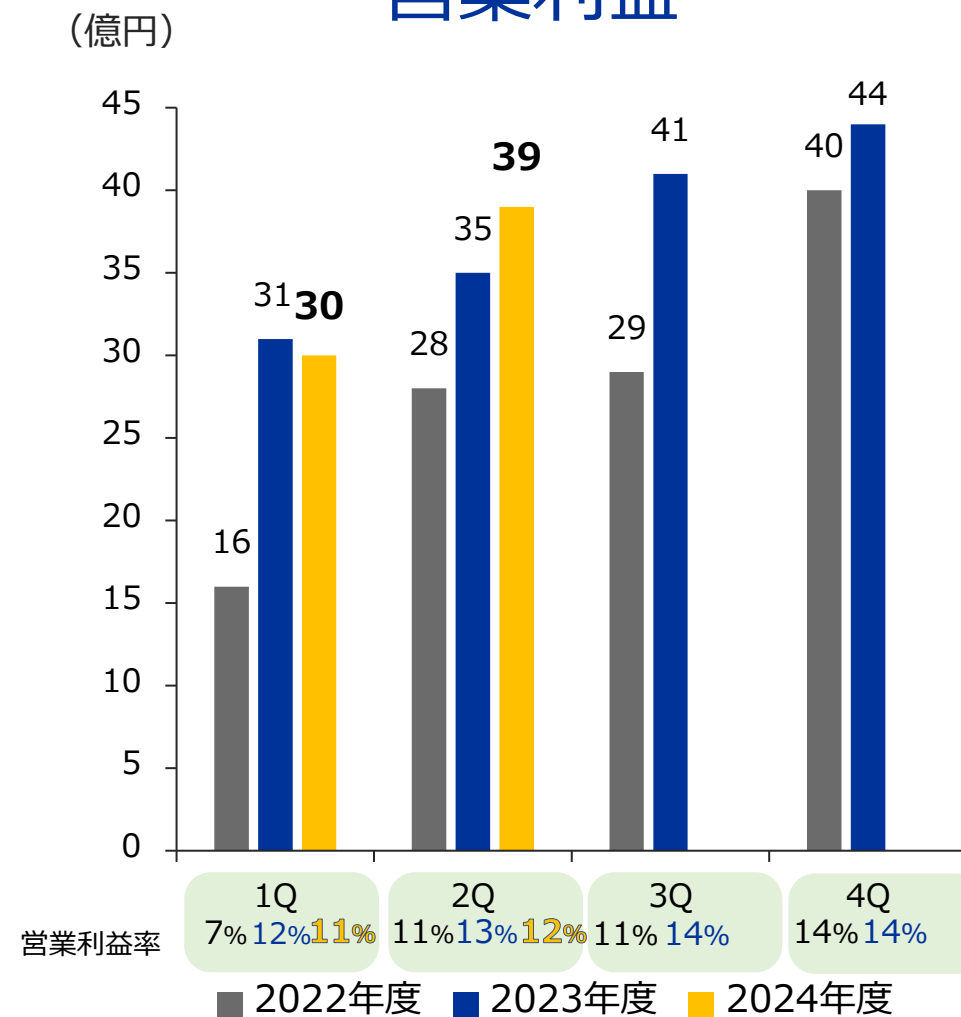
| | 2024年3月期中間 | | 2025年3月期中間 | | 前年比 |
|-------------------------|------------|--------|------------|--------|---------|
| | 金額 | 比率 | 金額 | 比率 | |
| 売上高 | 53,536 | 100.0% | 61,011 | 100.0% | 114.0 % |
| 売上原価 | 38,584 | 72.1% | 44,523 | 73.0% | 115.4 % |
| 売上総利益 | 14,951 | 27.9% | 16,487 | 27.0% | 110.3 % |
| 販売費及び 一般管理費 | 8,317 | 15.5% | 9,512 | 15.6% | 114.4 % |
| 営業利益 | 6,634 | 12.4% | 6,975 | 11.4% | 105.1 % |
| 経常利益 | 7,477 | 14.0% | 7,098 | 11.6% | 94.9 % |
| 親会社株主に 帰属する 中間純利益 | 5,303 | 9.9% | 5,166 | 8.5% | 97.4 % |

2025年3月期業績概要（四半期比較）

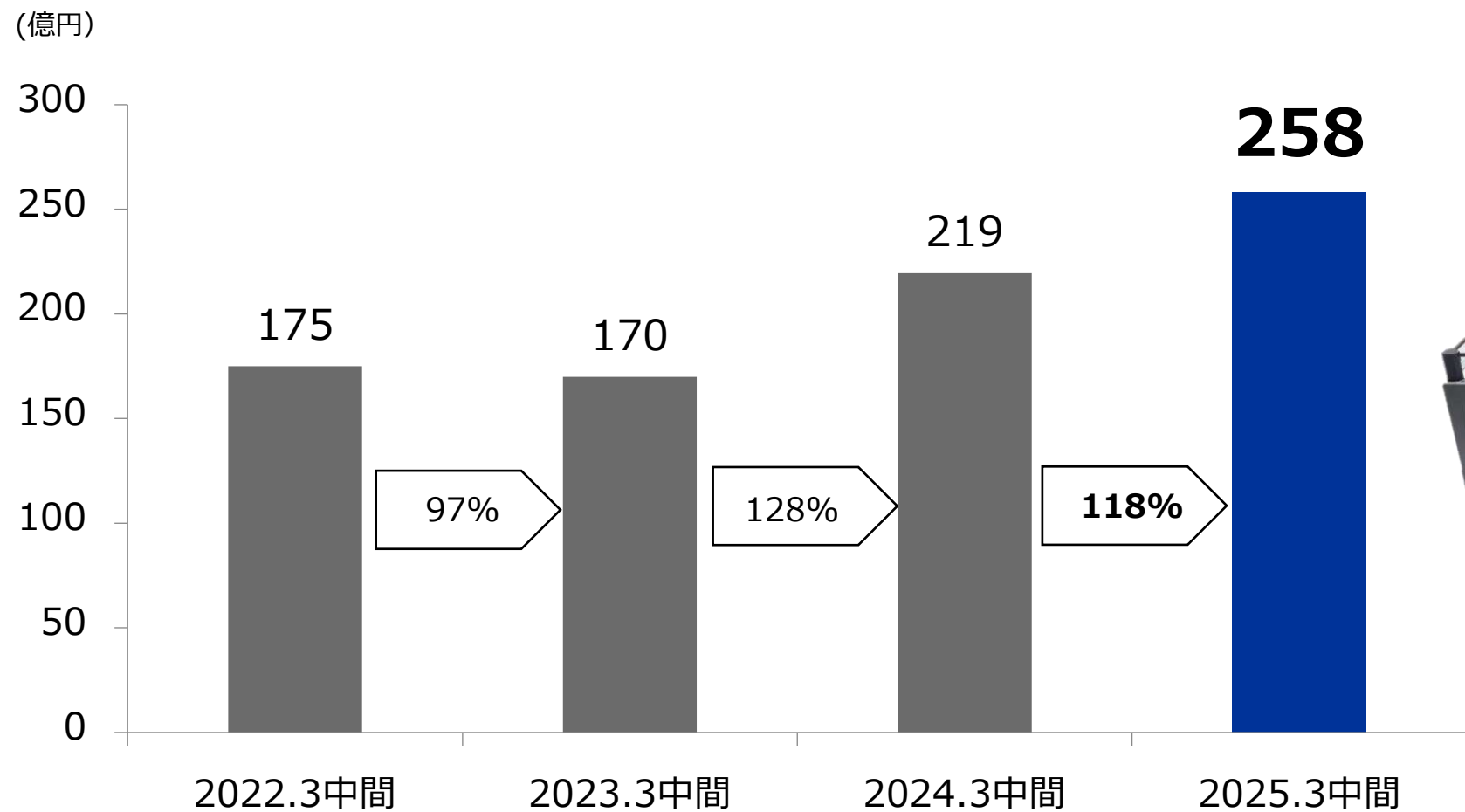
売上高



営業利益

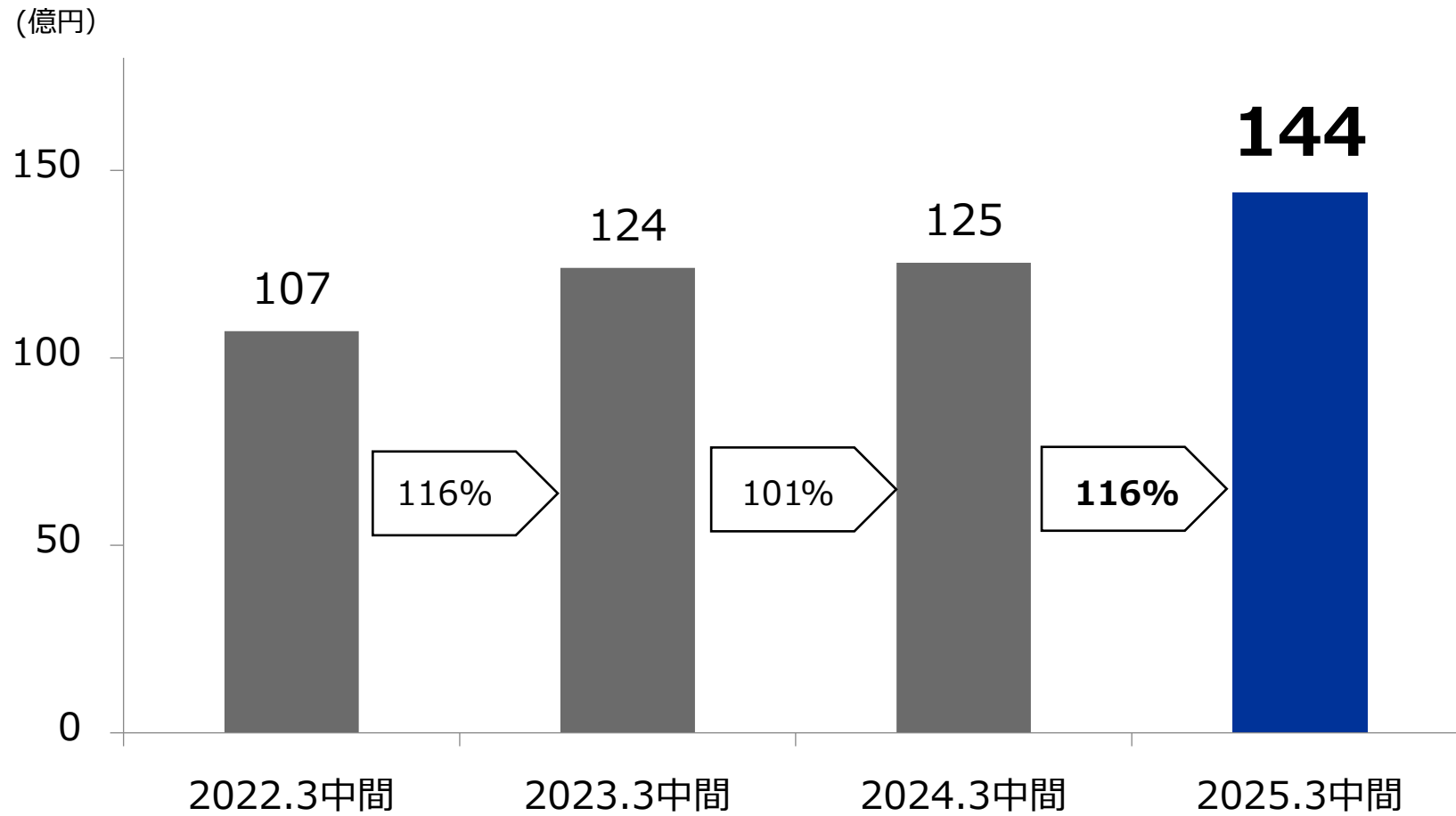


冷凍冷蔵ショーケース販売売上高推移



- ・主にスーパーマーケット向けの省エネ改装需要が堅調に推移
- ・海外事業でのショーケース販売も主にスーパーマーケット向けの販売が増加

フードサービス販売売上高推移



- ・ 外食産業の人手不足問題に省人化で貢献するブラストチラー等高単価商品の売上が復調
- ・ 今年度よりグループ入りした日本洗浄機の食器洗浄機を中心とした売上が堅調に推移

2024年4月

日本洗淨機がグループに参画

食器洗淨機、自動調理機などの製造・販売メーカー
省エネ・節水・省力化に優れた技術力あり

事業名の変更

冷凍冷蔵庫事業



フードサービス事業

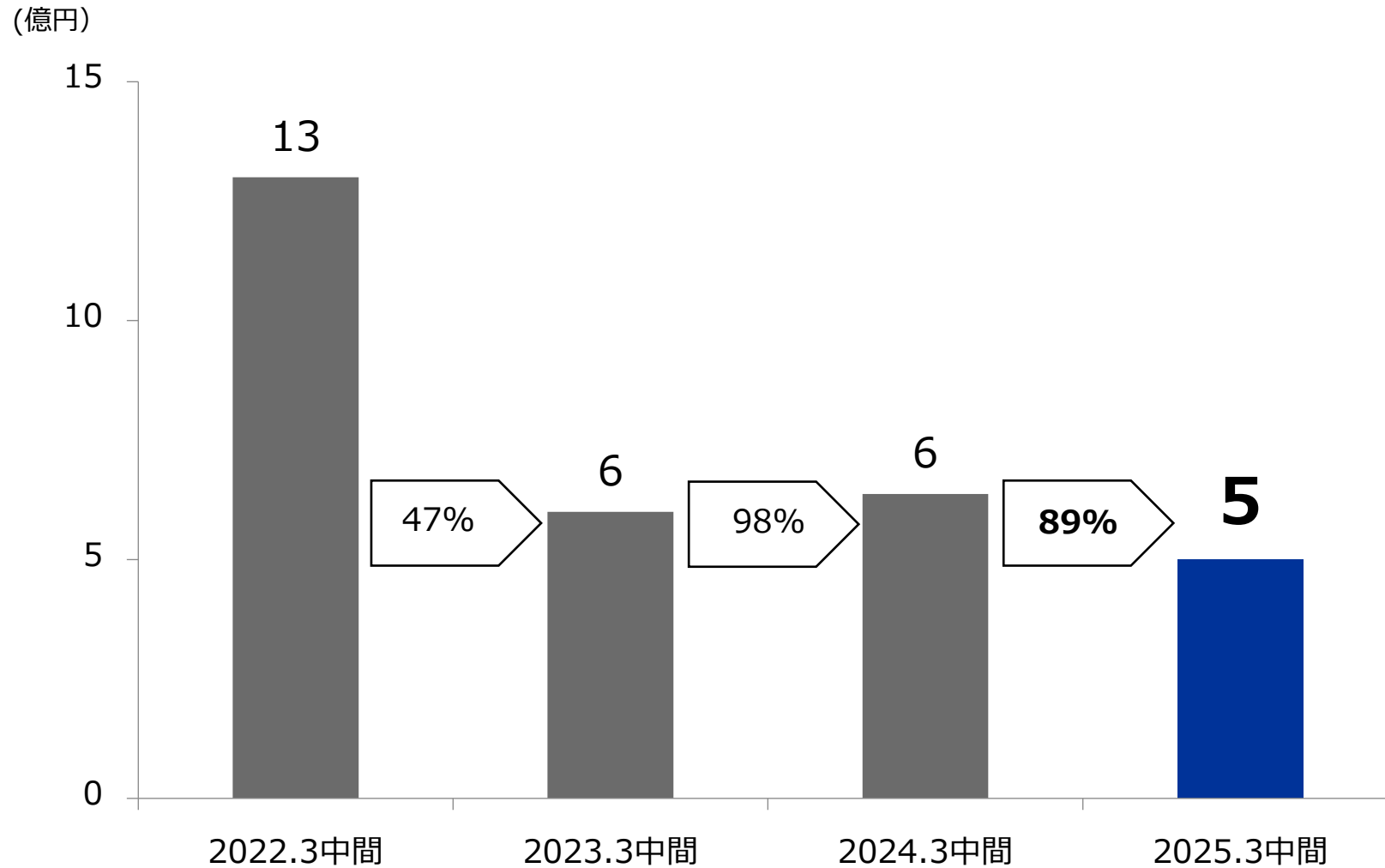
洗 日本洗淨機株式会社



今後の展望

厨房機器の新たな商材として食器洗淨機や自動ゆで麺機などが加わり、ユーザーに徹底的に寄り添った提案営業・製品開発(ユーザイン)を継続していきます!

医療・理化学製品販売売上高推移



- ・ 薬用保冷庫の調剤薬局、ドラッグストア向け販売が引き続き堅調に推移する
- ・ 一方、病院・クリニックや理化学市場向けの販売が減少

未来医療国際拠点 Nakanoshima Qross(中之島クロス) ガリレイ未来医療国際拠点 GIFT(ギフト)*開設

*GIFTギフト:Galilei International Center for Future medicine Technologyの略

○開設目的

現在、細胞大量製造システムに係る開発コンソーシアムに参画中
自動大量細胞凍結装置の開発にて再生医療製品等の開発や実用化を推進!



施設外観

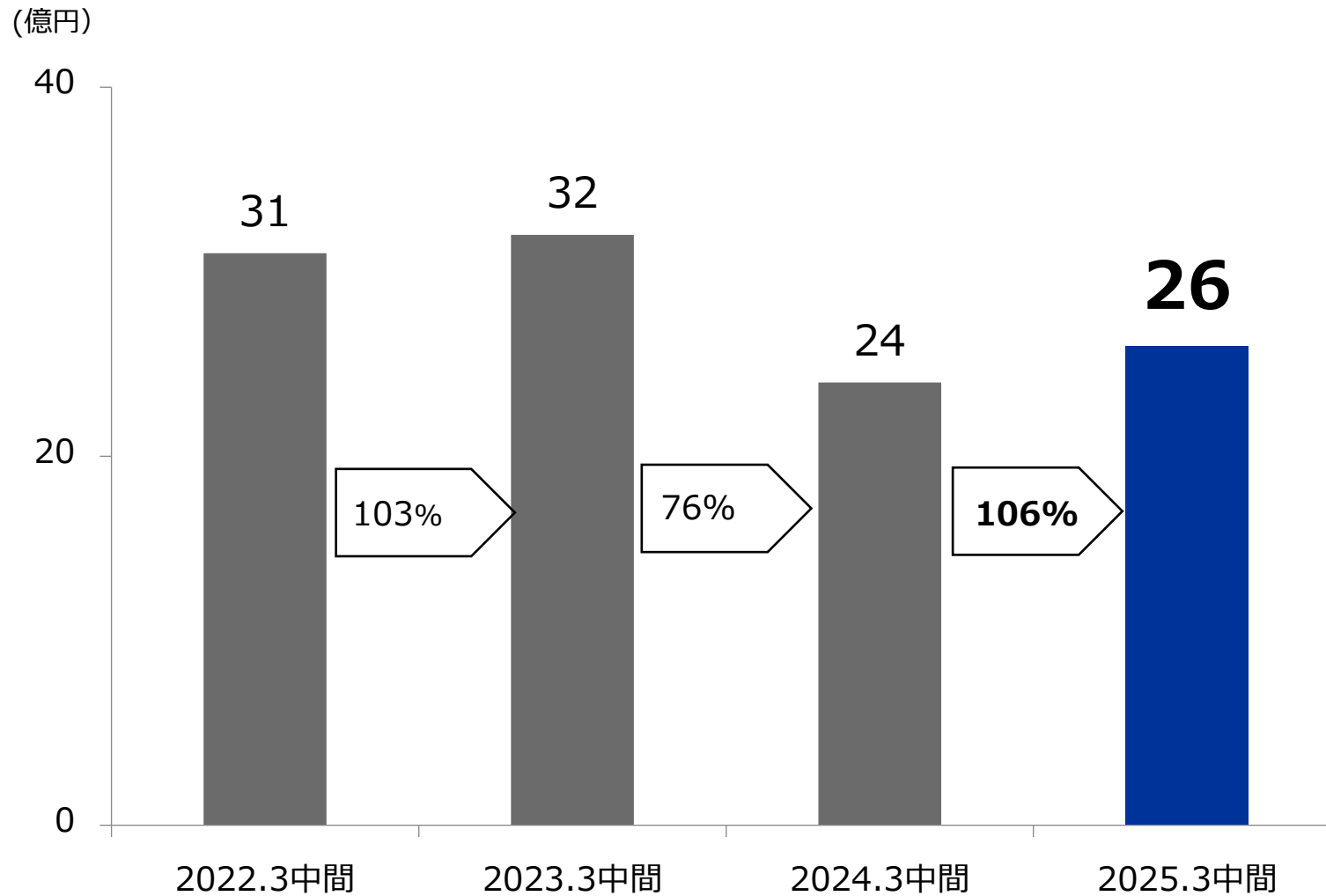


施設内の様子



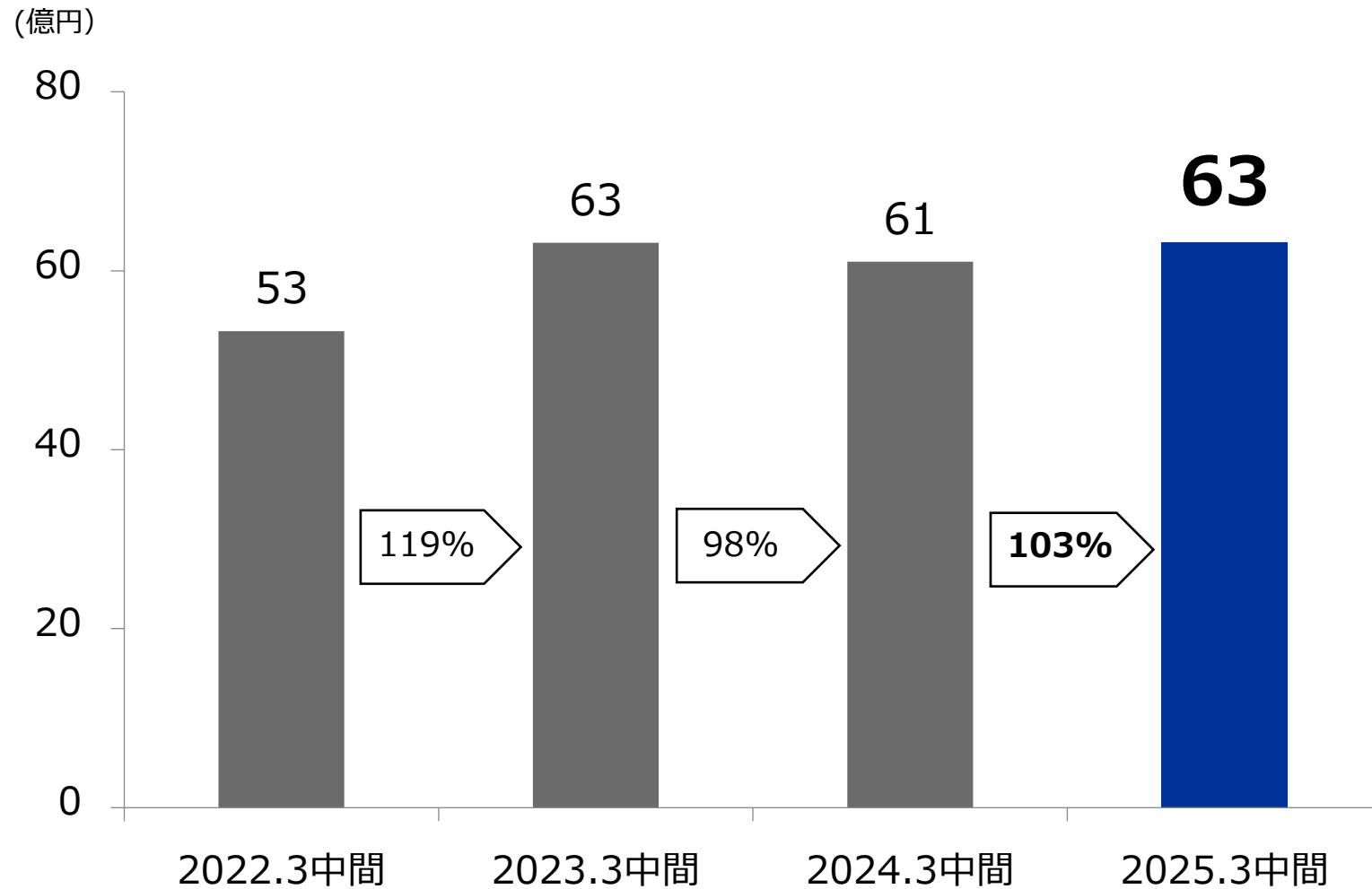
各種医療理化学機器を展示

大型食品加工機械販売売上高推移



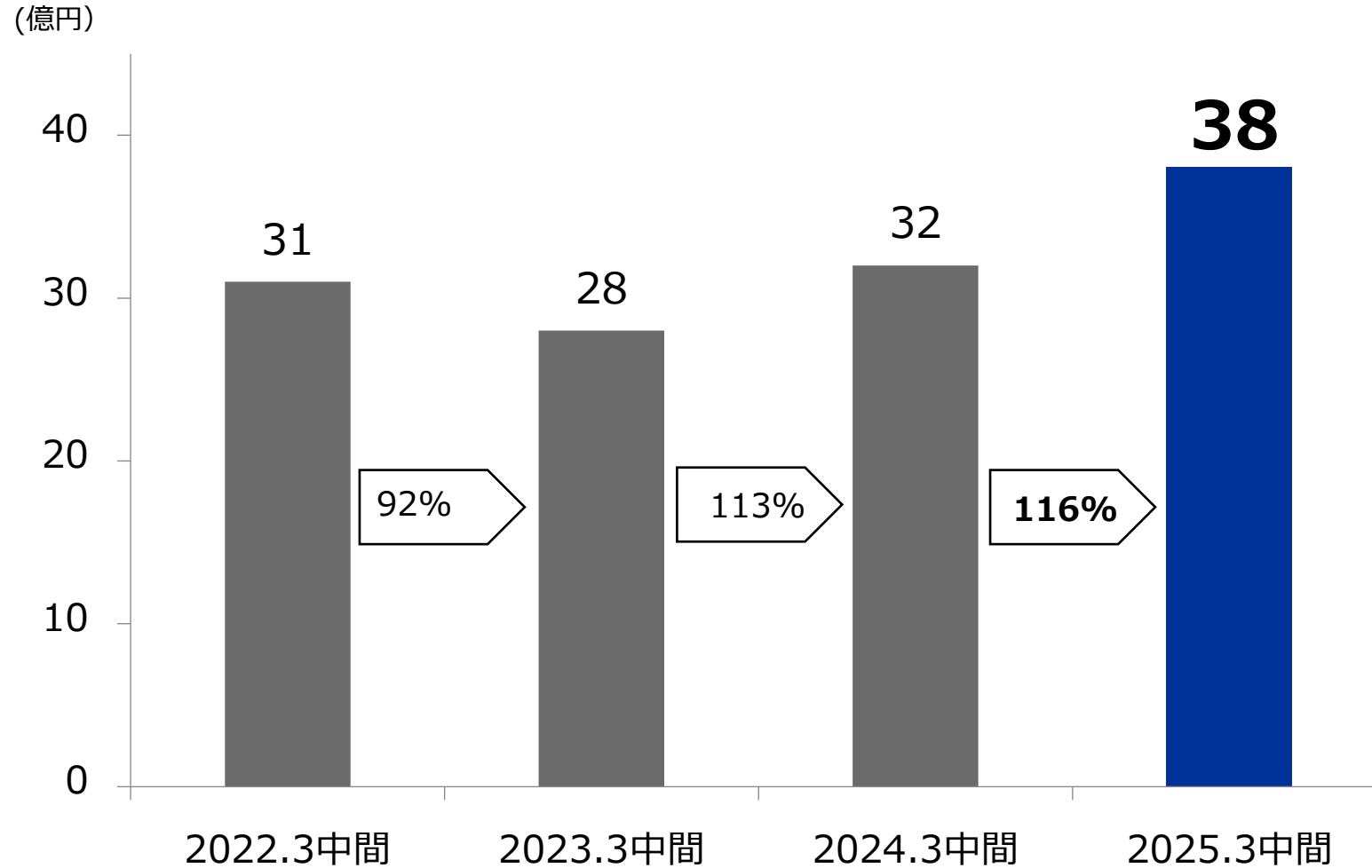
- ・エネルギーコストや原材料価格の高騰を受け、設備投資が慎重な傾向が継続
- ・一方、人手不足による自動化や省人化需要により一部の食品メーカーの投資意欲が回復基調で売上が堅調に推移

大型パネル冷蔵設備販売売上高推移



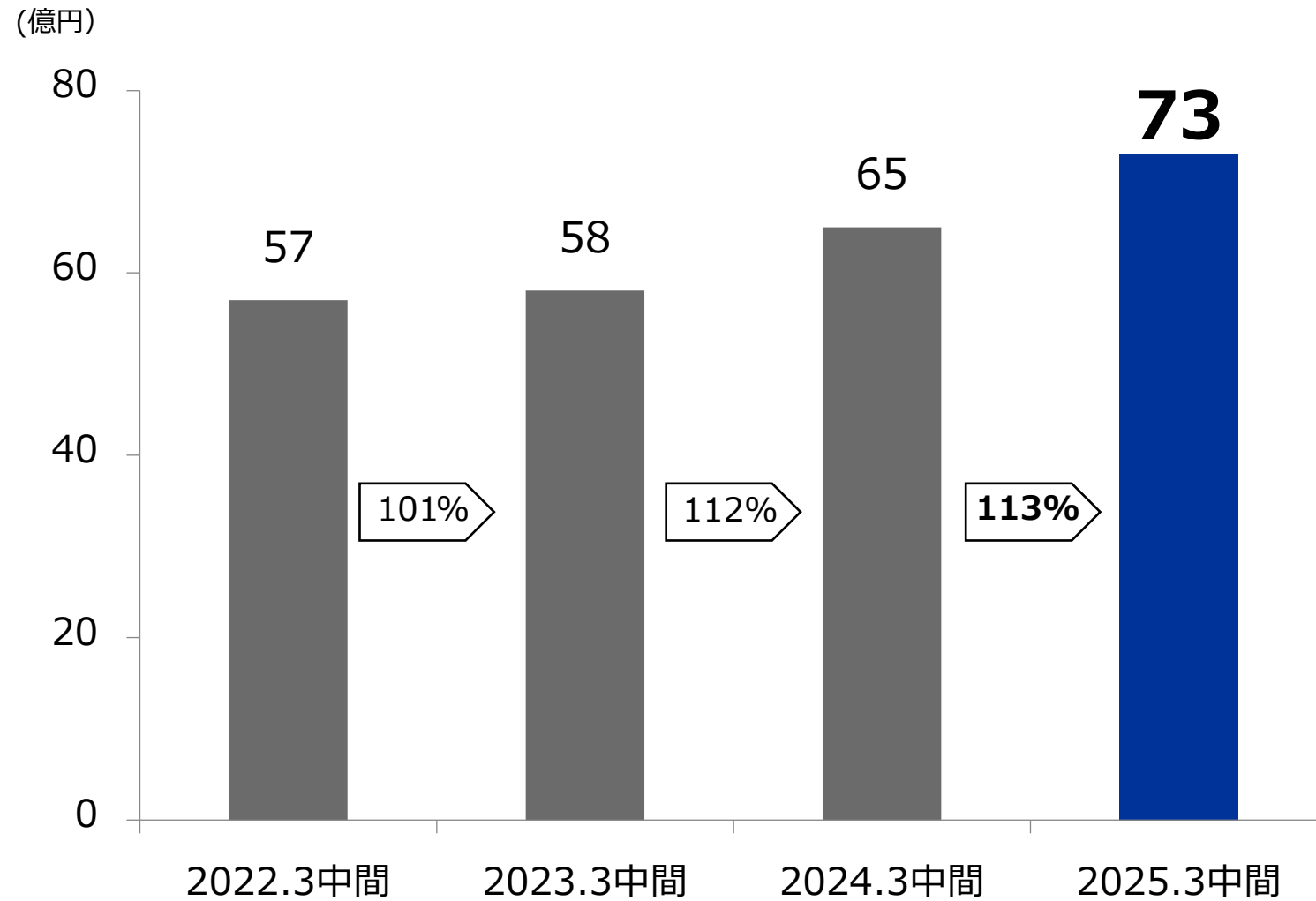
- ・物流の2024問題を背景に低温物流拠点の需要が堅調に推移
- ・スーパーマーケットのプロセスセンターを中心とした食品工場の需要が復調

小型パネル冷蔵設備販売売上高推移



- ・スーパーマーケットやコンビニエンスストアへの売上が堅調に推移

サービス販売売上高推移

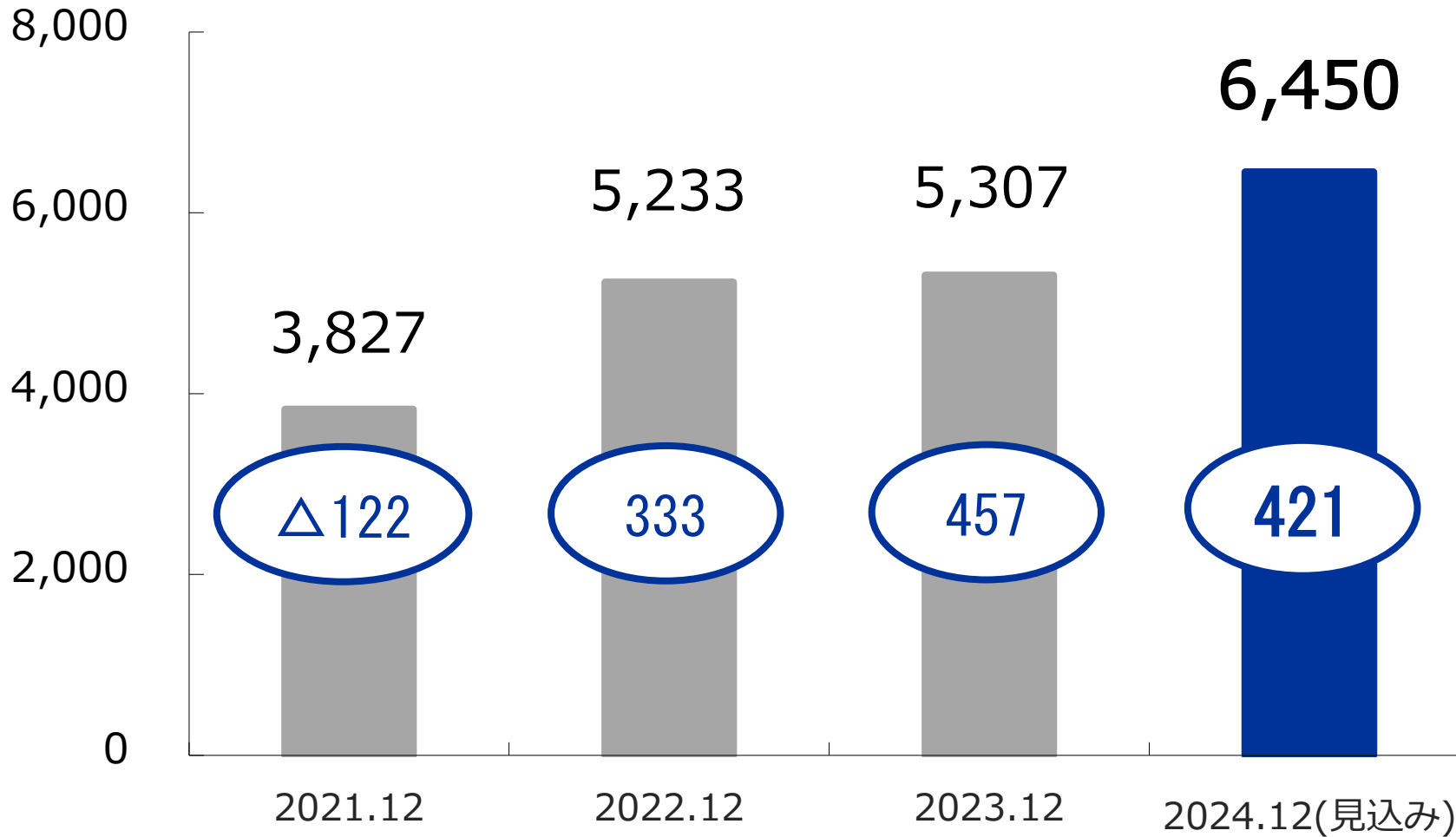


- ・ 外食産業向けの冷凍冷蔵庫等のメンテナンスや、スーパー、コンビニ向けのメンテナンス、保守契約の売上増加
- ・ トンネルフリーザーのメンテナンス売上も増加

海外事業売上高推移

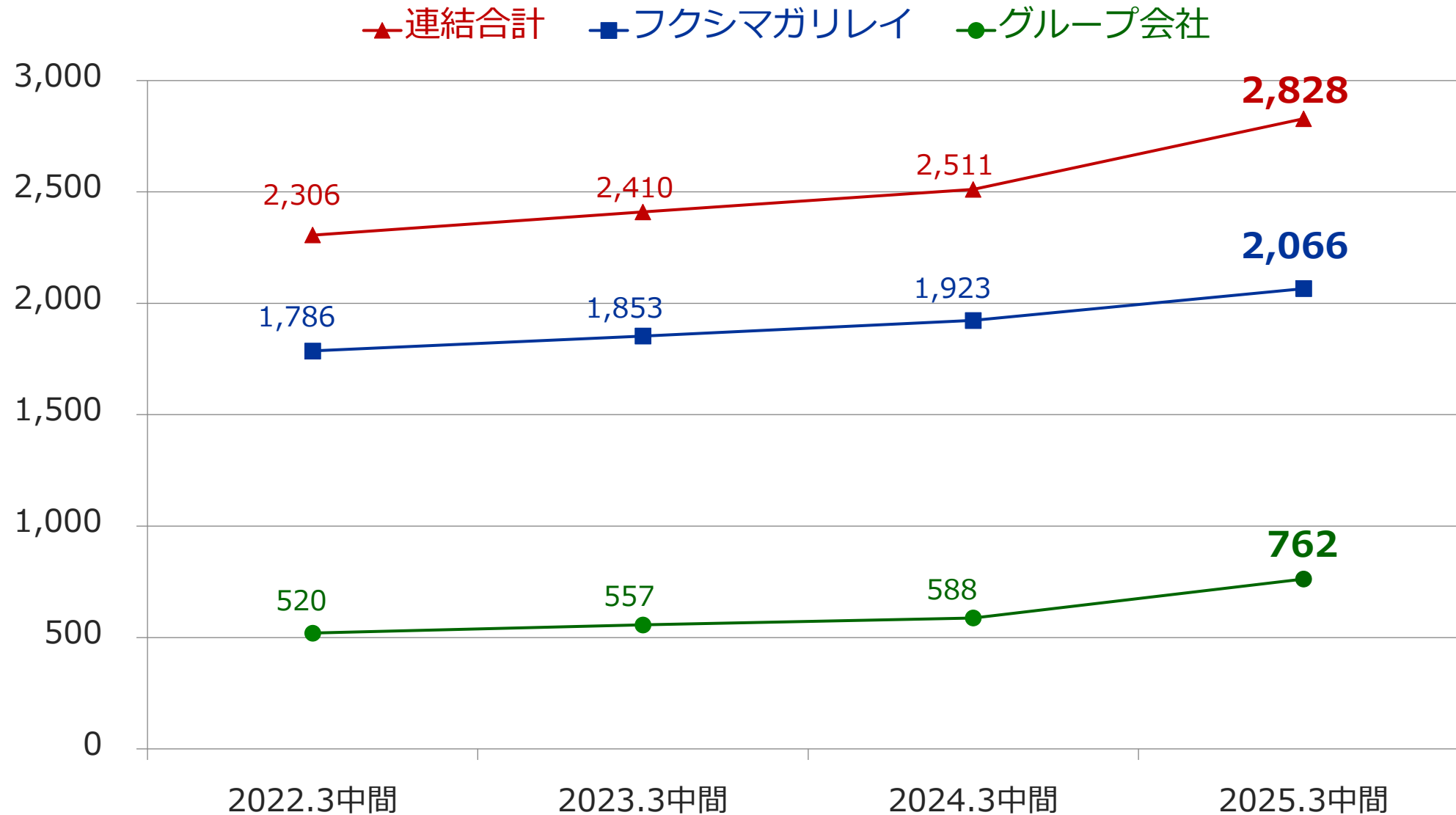
※販売会社の外売の推移

売上高 (百万円)

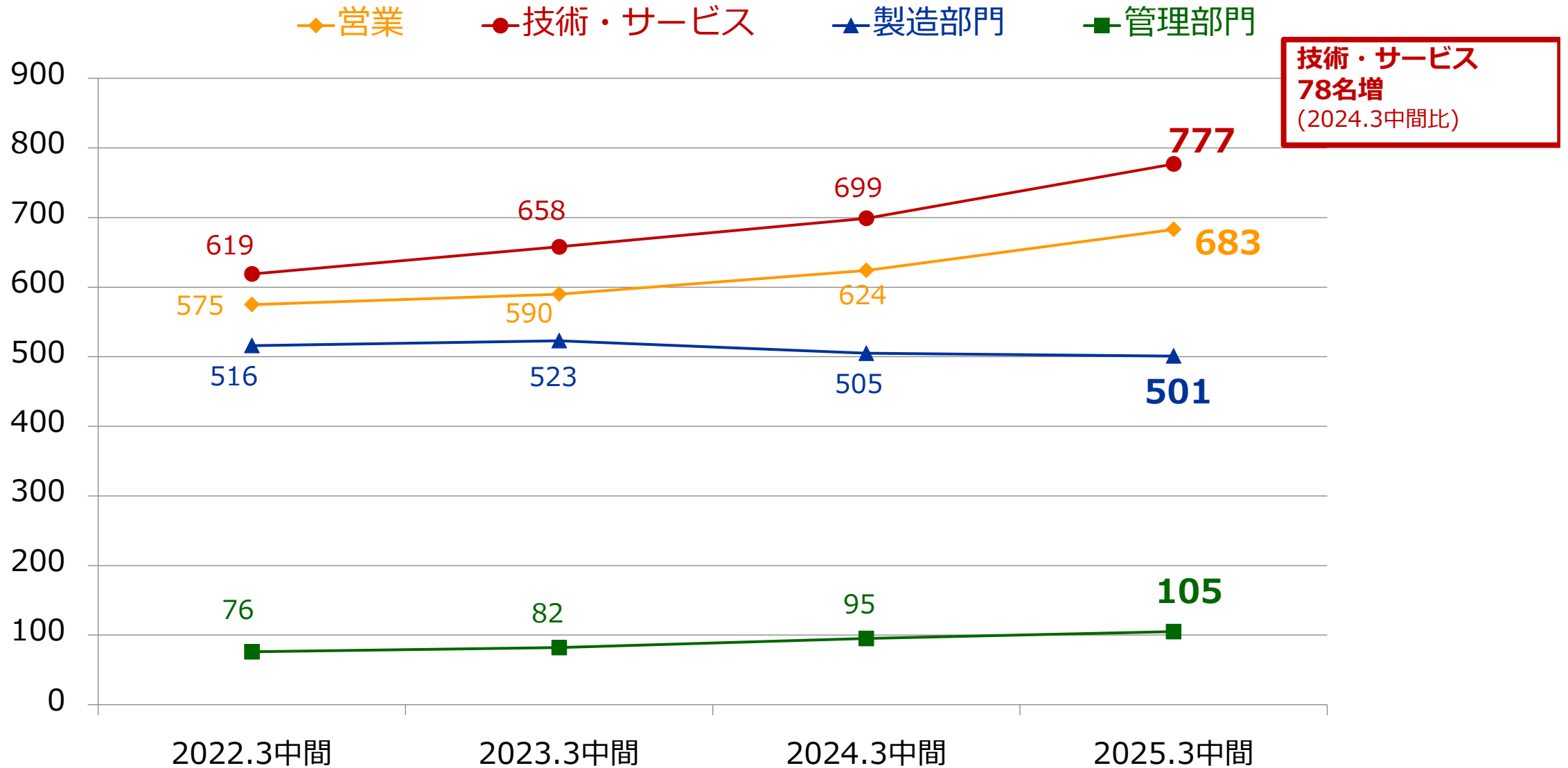


営業利益
(百万円)

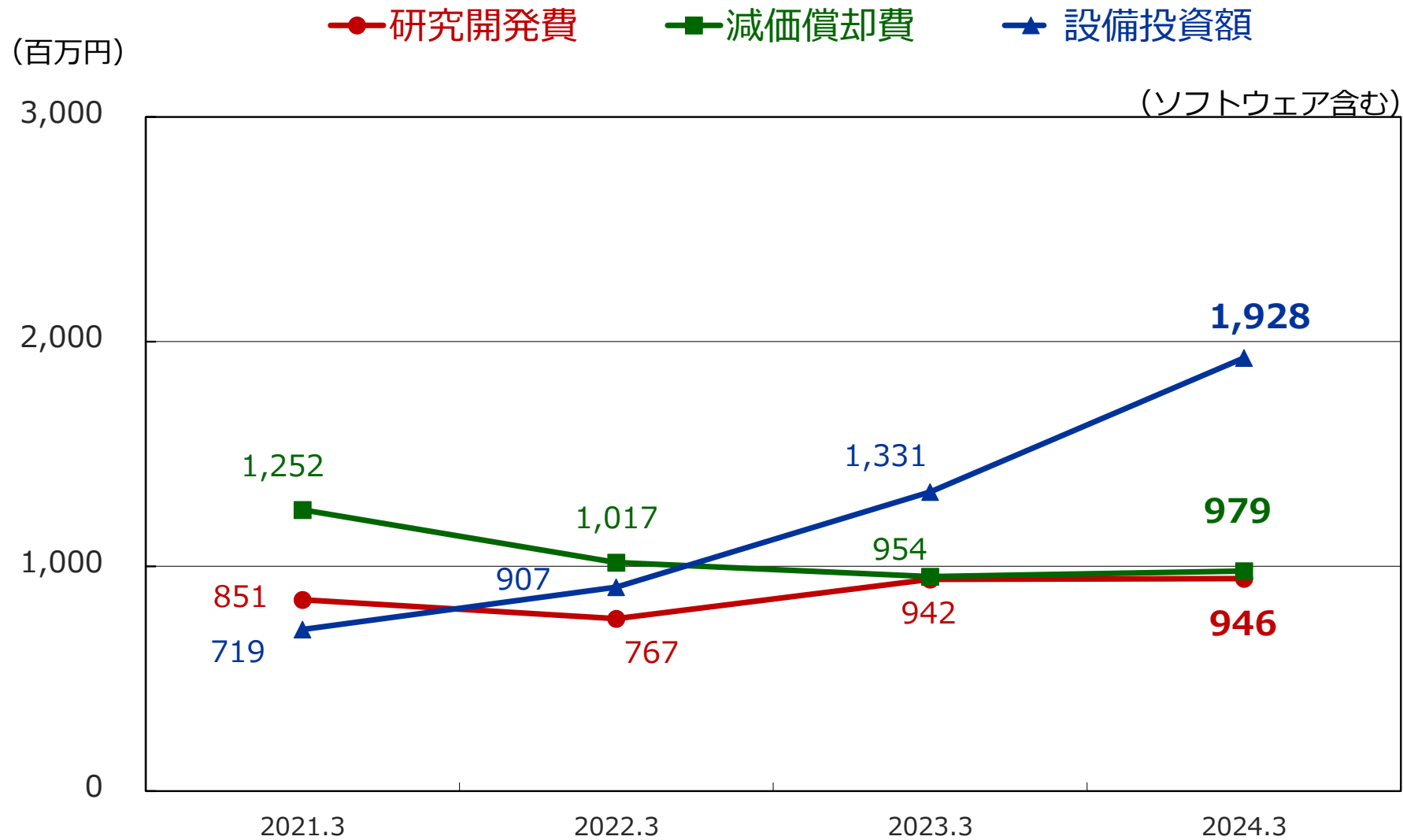
人員推移表（連結）



部門別 人員推移表 (単体)



設備投資、減価償却および研究開発費推移（単体）



2025年3月期通期業績予想

連結損益計算書サマリー

単位：百万円

| | 2024年3月期(実績) | | 2025年3月期(予想) | | 前年比 |
|---------------------|--------------|--------|----------------|---------------|---------------|
| | 金額 | 比率 | 金額 | 比率 | |
| 売上高 | 115,815 | 100.0% | 119,384 | 100.0% | 103.1% |
| 売上原価 | 83,418 | 72.0% | 86,877 | 72.8% | 104.1% |
| 売上総利益 | 32,397 | 28.0% | 32,506 | 27.2% | 100.3% |
| 販売費及び 一般管理費 | 17,098 | 14.8% | 19,315 | 16.1% | 113.0% |
| 営業利益 | 15,298 | 13.2% | 13,191 | 11.0% | 86.2% |
| 経常利益 | 16,159 | 14.0% | 13,576 | 11.3% | 84.0% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 12,306 | 10.6% | 9,785 | 8.2% | 79.5% |

冷凍冷蔵ショーケース事業 滋賀第二工場建設

2026年12月稼働予定
約**30%**生産能力増強
年間**60,000**台へ (現工場と合わせて)

大規模成長投資補助金を活用!

投資予定額: 86億円(土地取得費除く)
補助想定額: **28億円**

基本仕様

- ・ショーケース事業の**マザー工場**(次世代の高付加価値製品を開発・生産するショーケース事業の新たな**研究開発拠点**)
- ・**環境配慮型拠点**(CO2フリー工場、ZEB取得)

滋賀(湖南)新工場 外観イメージ



- ・外観デザインは**環境保全配慮**を基本**魅せる工場**(近隣学生など積極的に見学受入れ)
- ・新規採用60名計画。**地域雇用創出**

岡山工場 新配送センター建設

お客様からの多様なニーズに応え 出荷500台/日(定時内) を目指す!

- ・ 2025年4月稼働予定 ・ 投資額：約30億円(見込み)
- ・ 6,000台以上の製品収容能力に高める(現配送センターの1.5倍)
- ・ 入出庫能力を2倍以上に高める(クレーン2基→4基)

「物流2024年問題への対応」

- ・ 出荷情報の早期提供と荷待ち時間の削減
- ・ モーダルシフトの推進(船・鉄道)
- ・ 共同配送の実施
- ・ 定期便の増便
- ・ 協力業者全国中継デポの活用



株式分割を実施

2025年1月1日を効力発生日として
1株につき2株の割合をもって
株式分割を実施

当社株式の投資単位当たりの金額を
引き下げ、株式の流動性を高める

➡投資家層の拡大を図る

上場企業の投資単位の分布状況
(2024年3月末時点)

| 投資単位 | (社) |
|---------------|-------|
| 5万円未満 | 546 |
| 5万円～10万円未満 | 786 |
| 10万円～20万円未満 | 1,110 |
| 20万円～30万円未満 | 609 |
| 30万円～40万円未満 | 340 |
| 40万円～50万円未満 | 182 |
| 50万円～100万円未満 | 207 |
| 100万円～150万円未満 | 26 |
| 150万円～200万円未満 | 10 |
| 200万円以上 | 14 |

出所：日本証券取引所グループHP

食といのちの未来を拓く

提供価値

おいしさの喜びと感動を
アップデート

マテリアリティ

- ・生活者のくらしを向上

提供価値

食のライフラインを支え
ゆたかな暮らしへ

マテリアリティ

- ・フードロスの低減
- ・持続可能なサプライチェーンの実現

提供価値

地球上すべてのいのちを
いきいきと健康的に

マテリアリティ

- ・健康的な生活への支援
- ・脱炭素社会の実現

提供価値

世界中の一人ひとりの
しあわせに貢献

マテリアリティ

- ・地域社会との共生
- ・人材の育成
- ・多様な人材の活躍

S : サステナビリティの取り組み



グリーン冷媒への転換

冷蔵庫・製氷機 ノンフロン化

業界初 ノンフロン冷媒
R1234yf採用【GWP : 1】



冷媒ガス漏洩防止

業界初 ノンフロン対象機器にて

「冷媒ガス漏れ10年保証」

2024年4月先行開始



冷媒ガス漏れ
10年保証



2025年4月開始予定

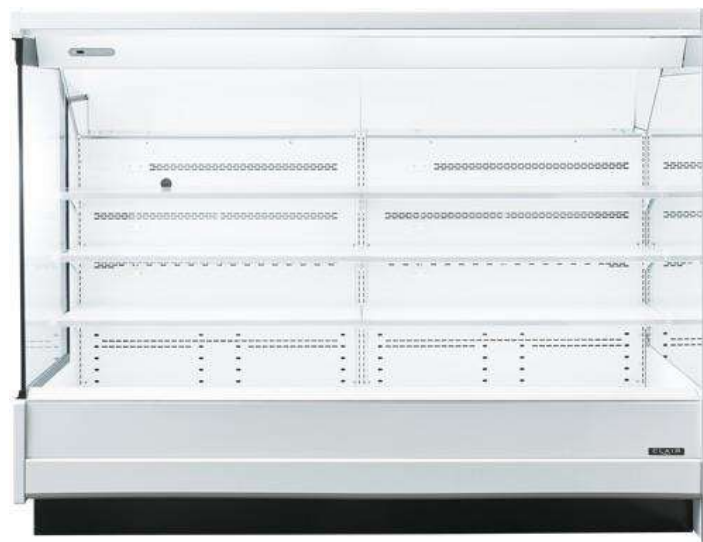
別置型製品冷媒ガス漏れ10年保証

店舗カルテの整備

スマート診断の精度向上

AUROのエッジ化

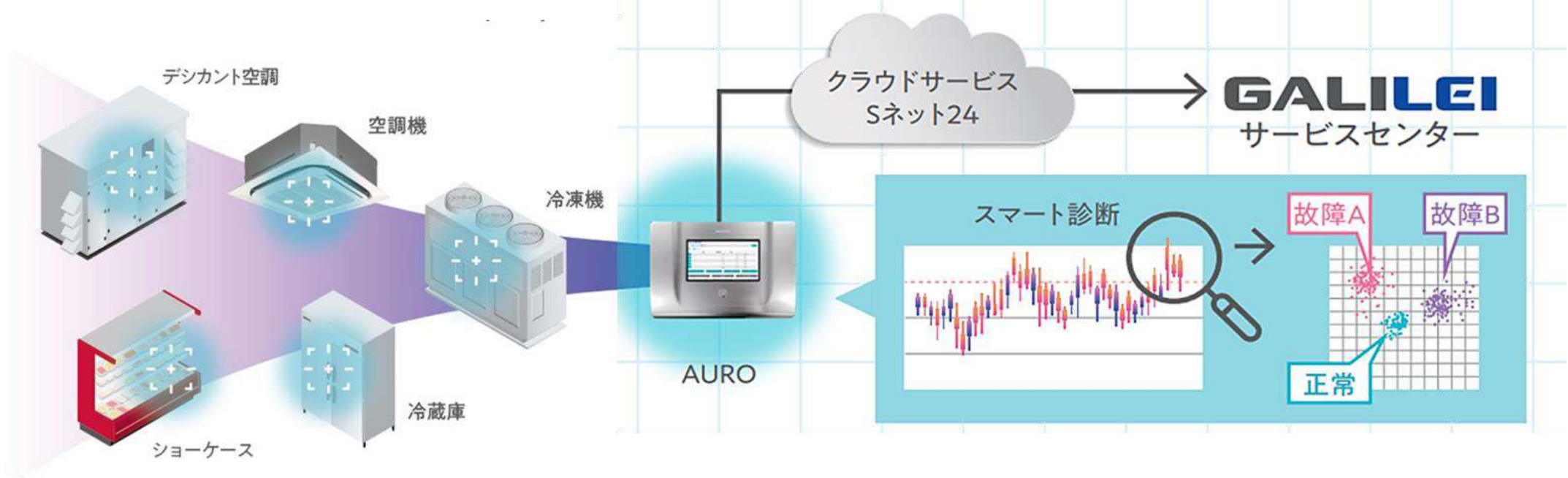
工事品質UP



冷媒ガス漏れ

10年保証

D : デジタルの取り組み



AI技術×IoT技術を活用し冷媒ガス漏れ予兆検知を行う「**スマート診断**」



冷媒漏洩を含む故障の兆候を検知し、**故障前に処置**

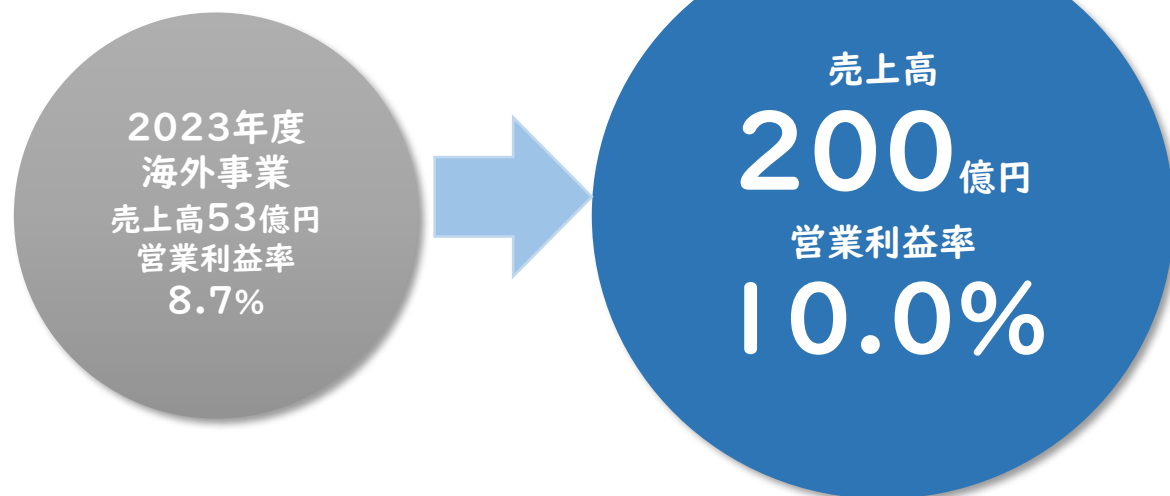
食品ロス・販売チャンスロスを防止する

「ZeroCallCompany」の実現を目指す!

「GALILEI Global Vision 2030」

経済価値

2030年のありたい姿



社会価値

「冷やす」技術でアジアの食のインフラを川上から川下まで支えることで、持続可能な社会の実現と食生活品質の向上を目指します。

成長戦略

①持続可能な豊かな社会の実現に貢献
(冷蔵庫・ショーケース事業)

- ・環境対応製品(省エネ・ノンフロン)開発強化
- ・戦略商品、ショーケース現地生産
- ・メディカル・ヘルスケア製品販売強化

②顧客とつながるソリューション事業の推進
(冷蔵庫・ショーケース事業)

- ・**冷却調理などソフト提案**
- ・ユーザーへの直販体制強化
- ・各国サービス網の強化

③グループエンジニアリングの推進
(エンジニアリング事業)

- ・断熱パネルの内製化
- ・トンネルフリーザー、NOBRAC現地生産
- ・食品機械メーカーとの連携構築

G：グローバルの取り組み

②顧客とつながるソリューション事業の推進（冷蔵庫事業）

海外ショールーム F'S DESIGN COURTを立ち上げ

ローカル営業がローカルユーザーとつながる場所を創る

重点国・タイ：2024年12月稼働予定

・ベトナム：2025年1月稼働予定

・インドネシア：2025年4月稼働予定

今後は

凍結・解凍技術でユーザーと新しい食ビジネスを創造

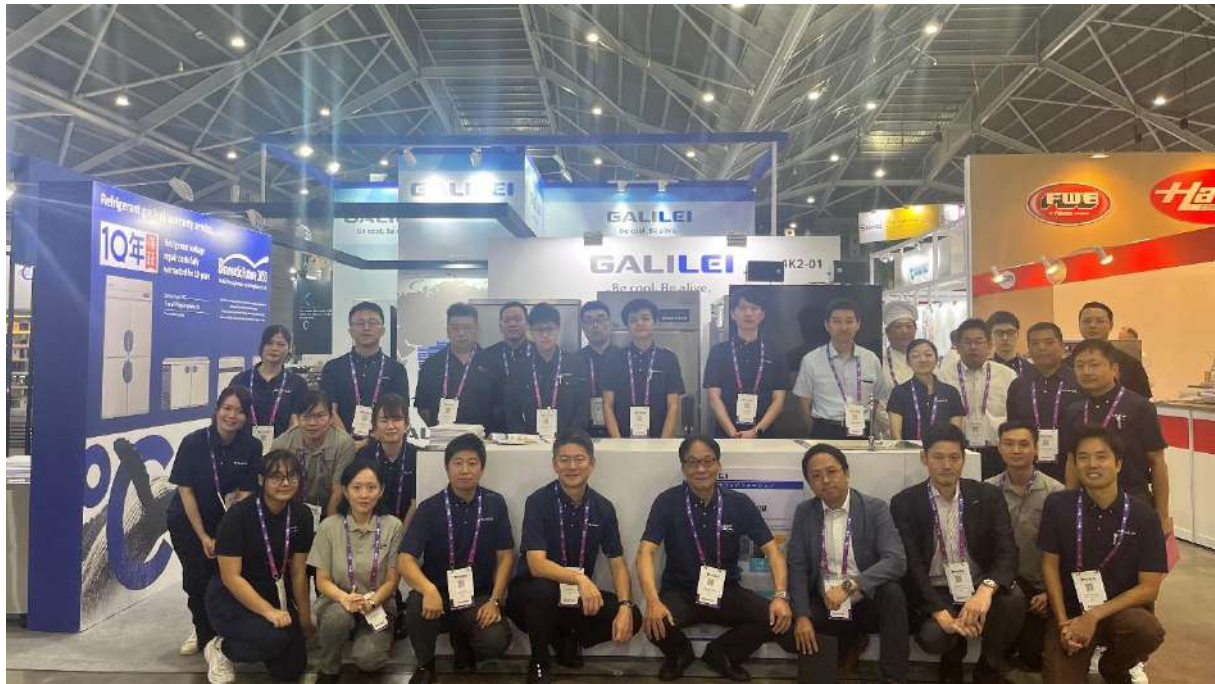
食のイノベーション拠点をアジアに設立！

ハード+ソフト提案のローカル化
モノ売りとの差別化へ！



F'S DESIGN COURT

G : グローバルの取り組み



タイ工場製の
業務用冷凍冷蔵庫も
ノンフロン冷媒
R1234yfを採用!

海外での
冷媒ガス漏れ
10年保証もPR!



2024年10月時点
卒業生（12期生まで）
合計135名

コンセプト
「人と技術を共に育て、
食といのちの未来を拓く育成・開発拠点」

2027年春設立
“ガリレイグローバルアップセンター”



「働きがいあふれる職場づくり」

①賃上げへの取り組み

2023年度：5%UP

2024年度：6%UP

②社員持株会向けRS導入 (譲渡制限付株式インセンティブ制度)

2024年3月

社員1名あたり50株を付与

総数：普通株式93,250株

総額：450百万円

③モチベーション クラウド

従業員の働きがいを
数値で分析



2024年度 **全体偏差値：53.5**
(海外・グループ会社除く全事業所)

2023年度 全体偏差値：55.9
(東京・関東SC・本社)

2022年度 全体偏差値：47.8
(東京)

令和6年度 食品ロス削減推進表彰 審査委員会特別賞 受賞

環境省・消費者庁主催

令和6年度

食品ロス削減
推進表彰

募集期間 / 2024.5.31(金) - 2024.7.31(水)



2023年度末までに

188か所、累計240台の業務用冷凍冷蔵庫を寄贈し、食品ロス削減に貢献

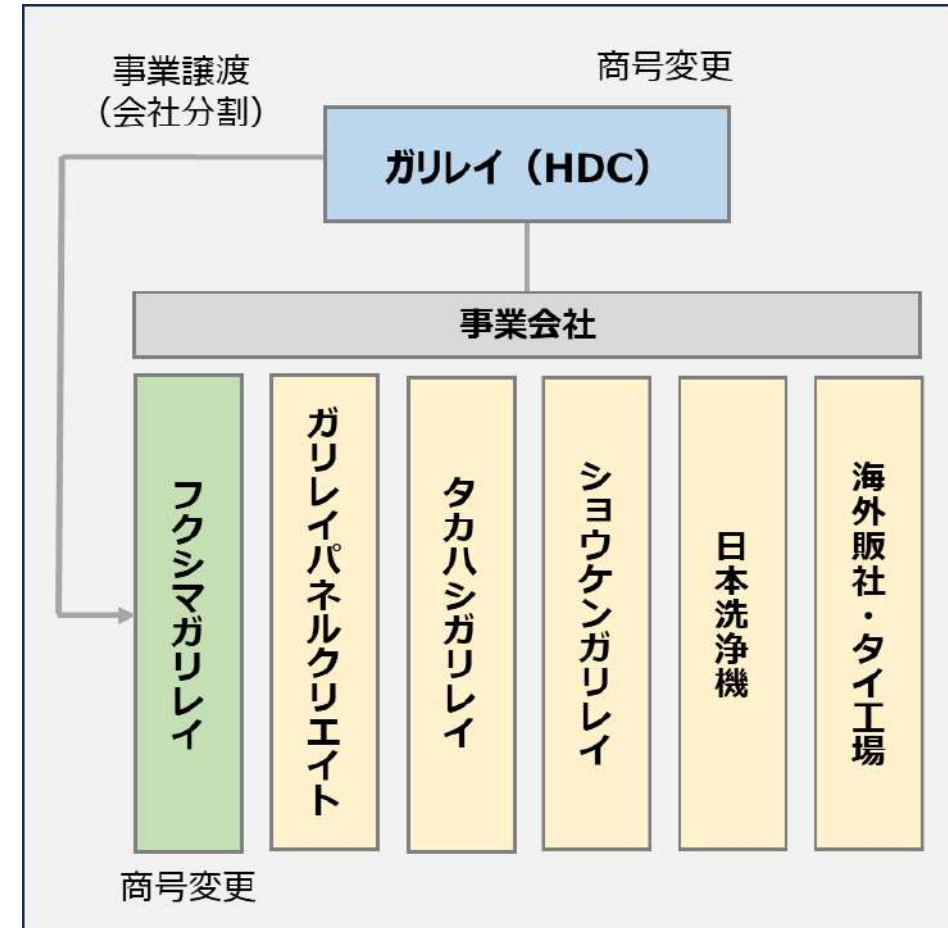
ホールディングス化について

ホールディングス化の目的

- ① 人材及び資金等の経営資源配分の最適化による
グループシナジーの発揮
- ② M&Aを活用した事業拡大や新規分野への挑戦
- ③ グループ経営体制を強化
…各事業における収益性及び経営責任を明確化し、
自立性を向上を図る

さらなる企業価値の向上を目指す!!

2025年4月1日ホールディングス体制へ移行



GALILEI

Be cool, Be alive.

フクシマガリレイ株式会社 経営企画部経営企画課

TEL : 06-6477-2011

当資料に記載されている当社の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらは、掲載時点で入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づいています。実際の業績はリスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。